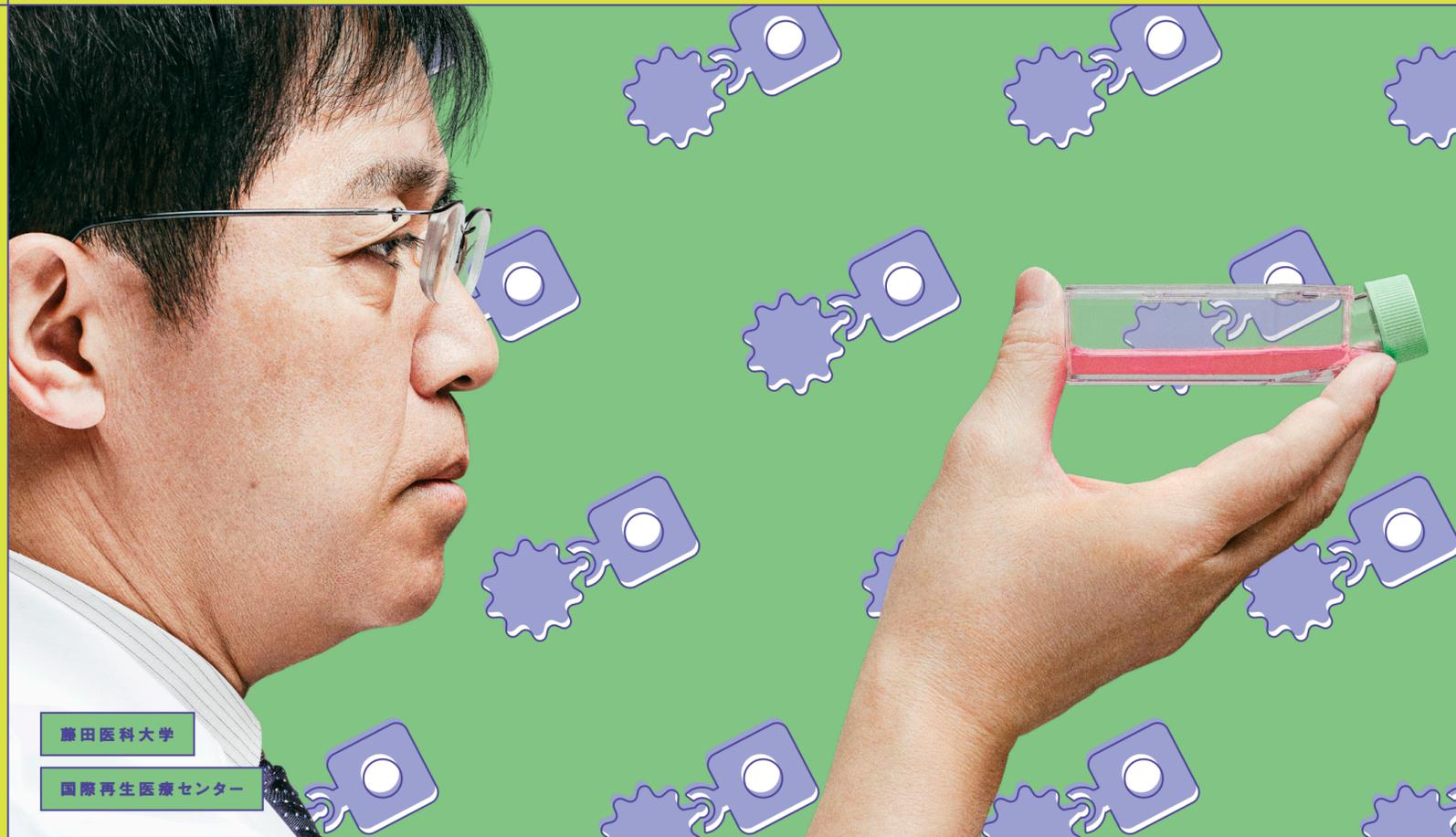


誰の体にも合う 細胞の素質で 血液がんの克服へ。



藤田医科大学

国際再生医療センター

難治性で再発も多い血液がん。最も有効な治療法はオーダーメイドゆえに高額で、人生に一度しか使えないなどの制約も多い現実があります。藤田医科大学はこれらの課題を克服しうる次世代の免疫療法として「 $\gamma\delta$ T(ガンマデルタティー)細胞」を主役とした研究を推進。白血球の型を合わせる必要がなく、大量生産・長期保存が可能で、しかも安価かつ効果的ながん治療の普及が期待されています。いつでもどこでも誰にでも何度でも—そんな理想的な療法なのです。これを5年以内に実用化し、将来的には血液以外のあらゆるがん治療の選択肢に入れることも目指しています。

救える力を、創りだす。



藤田医科大学